

アセアン工学系高等教育ネットワーク (AUN/SEED-Net)  
本邦博士プログラムについて  
【2017 年度版】

## 1. 趣旨

アセアン工学系高等教育ネットワーク (AUN/SEED-Net) は、ASEAN10 カ国の AUN/SEED-Net メンバー大学 (26 大学) 及び日本の AUN/SEED-Net 支援大学 (14 大学)<sup>1</sup>によって構成される工学系のネットワークで、(独)国際協力機構 (JICA) の支援により運営されています。AUN/SEED-Net は、東南アジア域内の社会の発展のために、主として教員の研究・教育能力を高めることにより、加盟大学の研究・教育能力の向上支援を目指しています。実際の活動では、大学院レベルの学位取得プログラムや各種共同研究プログラムのほか、産業界との連携促進活動、加盟大学間の人的・学術的交流の促進 (ネットワークの構築・強化) 等の様々な取り組みを行っています。

本邦博士プログラムは JICA の長期研修員制度に則り実施され、メンバー大学の若手教員・若手教員候補者に、日本の支援大学における 3 年間の博士課程での修学機会を提供するものです。

なお、2017 年度から、必要とされる場合には、博士課程の期間に加えて事前に 6 ヶ月間の研究生としての期間を認めることになりました。これにより、最長で 3 年 6 ヶ月にわたる国内支援大学での研究活動が可能となりました。研究生としての在学期間は、奨学生が本邦での生活に順応してスムーズに研究活動を開始出来るように、また母国の大学で実験経験が不十分であった奨学生が、本格的に研究活動を開始する前に国内支援大学での研究準備を行うことを目的として設定されております。

当プログラムの奨学金受給者は、博士課程修了後に出身大学に戻り教員として勤務し、所属大学及び自国、さらには地域の発展に貢献することが期待されています。国内支援大学の指導教官となっていただく先生方から、当プログラム奨学生へのご支援とご指導を賜りたくお願い申し上げます。

本プログラムの応募ガイドライン (英文) は、以下 AUN/SEED-Net ホームページよりご確認ください。

<http://www.seed-net.org/application-forms/>

## 2. 本邦博士奨学金付与の条件

奨学金の付与にあたっては、以下 3 点を満たすことを条件としております。

- (1) 日本の支援大学の受入希望先教員の研究指導の内諾を得ていること
- (2) AUN/SEED-Net 事務局のスクリーニングを通過すること
- (3) 日本の支援大学の指定する検定/試験に合格すること

## 2. 本邦博士奨学金付与の条件

奨学金の付与にあたっては、以下3点を満たすことを条件としております。

- (1) 日本の支援大学の受入希望先教員の研究指導の内諾を得ていること
- (2) AUN/SEED-Net 事務局のスクリーニングを通過すること
- (3) 日本の支援大学の指定する検定/試験に合格すること

AUN/SEED-Net 事務局でのスクリーニングは、学部成績、研究指導の内諾書、AUN/SEED-Net の支援する工学系 10 分野のバランス等を勘案して実施します。2017 年度より、日本の支援大学の先生方から研究指導の内諾を取り付けていることが、奨学金を申請する時点で必要となりました。

## 3. 来日時期

本奨学金は、会計年度 2017 年度中に来日することを条件としております。従いまして、研究生としての期間を設定しない場合には、原則として 2017 年秋（9～10 月）に入学することになります。6 ヶ月間の研究生期間を設ける場合には 2017 年秋（10 月）に本邦に到着、研究生の期間を経て 2018 年春（4 月）に入学する形を想定しています。どちらの形を取るかは、指導教官となつていただく先生と候補者の同意に基づいて決めていただきます。

## 4. 奨学金の支援内容

JICA の長期研修員制度に基づく支援が行われます。基本的に文部科学省国費留学と同程度の生活費、来日・帰国時の航空券、海外旅行保険（JICA により加入）等が支援されます。また、学費は所定額を JICA から直接大学にお支払いいたします。ただし、奨学金の支給期間は研究生としての期間を含めると 3 年 6 ヶ月の期間、研究生としての期間が含まれない場合には 3 年の期間とし、期間延長は原則として認めておりません。つきましては、受け入れに当たっては、この点をご留意いただいた上で審査をお願いいたします。

また、奨学金とは別に、学生自身が応募して採択されることを前提に、AUN/SEED-Net の実施する地域会議（AUN/SEED-Net の支援する工学系の各 10 分野で年に 1 度 ASEAN の加盟大学の主催で行われる国際会議。同分野に関連する教員・学生・研究者等が集まり、研究発表等を実施します）への参加機会が提供されます。地域会議へ参加する学生は、AUN/SEED-Net から、参加に必要な往復航空券・宿泊費等の支援が行われます（本邦大学の在学中、上記支援が行われるのは 1 度のみ）。開催にかかる詳細は地域会議の開催時に主催大学及び SEED-Net のホームページ上で通知されます。

## 5. 来日までのスケジュール及びお問い合わせ

能性につき判断いただけましたら幸いです。なお、応募者からの打診の時点では、奨学金の支給は決定しておりませんので、この点をご留意願います。

- (2) 研究指導可能とのご判断がありましたら、別紙「Letter of Acceptance of Doctoral Degree Program in Japan (2017 年度本邦博士プログラム研究指導内諾書)」の質問事項にご回答いただき、奨学金応募者に PDF のフォーマットでお送りください。この書類は、2016 年 11 月末までに実施する、事務局での奨学生選考時における資料とさせていただきます。研究生としての期間が必要となる場合がありますら、研究指導の

能性につき判断いただけましたら幸いです。なお、応募者からの打診の時点では、奨学金の支給は決定しておりませんので、この点をご留意願います。

(2) 研究指導可能とのご判断がありましたら、別紙「Letter of Acceptance of Doctoral Degree Program in Japan (2017年度本邦博士プログラム研究指導内諾書)」の質問事項にご回答いただき、奨学金応募者にPDFのフォーマットでお送りください。この書類は、2016年11月末までに実施する、事務局での奨学生選考時における資料とさせていただきます。研究生としての期間が必要となる場合があります。研究指導の内諾書にその旨を記載いただき、候補者にご返送いただく時点で通知をお願いいたします。2016年11月末以降に、事務局に研修生期間の必要性をご連絡いただいても、事業実施上の制約により対応できない場合があります。この点、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

(3) 事務局による奨学金応募者の選考結果は、奨学金応募者に通知します。この後、事務局による選考に合格した奨学金応募者（以降、最終候補者と表記）は、大学/指導教官と連絡を密に取り、大学から願書が公表された時点で、願書を作成・大学に直接提出することになります。

※願書の送付、作成、提出などにつきましては、最終候補者と大学/指導教官間で行っていただくようお願いいたします。ただし、検定料などの諸経費はすべてJICA国内センターから大学に直接お支払いをさせていただきます。なお、6ヶ月の研究生期間を利用しない場合において、受験・面接のための来日が必要であればAUN/SEED-Net事務局から、約1週間の渡航に必要な航空券と旅費（日当、規定額に基づく宿泊費）を最終候補者に支給いたします。6ヶ月の研究生の期間を利用する場合、最終候補者はJICA国内センターを含めた関係機関の手続きの支援を得て本邦へ渡航します。その後、研究生として在学する期間に、博士課程（後期）に入学するための選考を受けることとなります。

(4) 最終候補者が大学による選考に合格した場合には（以降、奨学生と表記）、指導教員、候補者、JICA国内センター<sup>2</sup>、AUN/SEED-Net事務局にて、正規に博士課程（後期）の学生として来日する日程、あるいは研究生から正規の学生に切り替える手続き等につき調整を行います。最終候補者が、6ヶ月にわたり研究生として日本に渡航する際、あるいは研究生の期間を利用せずに直接、奨学生として博士課程（後期）に入学する際、いずれの場合にもJICA国内センターとJICA在外事務所から日本渡航用のビザを申請するにあたりサポートがあります。日本の支援大学にビザ取得に関係して書類の準備をお願いすることはありますが、主体的に手続きを行っていただく必要はございません。なお、大学の寮を利用できる場合は可能な限り事前にお伝えいただければ幸いです。

(6) 研究生あるいは博士課程（後期）学生としての来日・研修開始は、原則として2017年10月頃を想定しています。

当該の奨学金プログラムにつきまして、ご不明な点ならびにご質問がありましたら、以下連絡先までご遠慮なくお問い合わせください。

シードネット事務局  
本邦博士奨学金プログラム担当 高島 淳  
メールアドレス：takashima@aun-seed.net

年10月頃を想定しています。

当該の奨学金プログラムにつきまして、ご不明な点ならびにご質問がありましたら、以下連絡先までご遠慮なくお問い合わせください。

シードネット事務局  
本邦博士奨学金プログラム担当 高島 淳  
メールアドレス：takashima@aun-seed.net

国内支援大学の先生方から、当奨学金へのご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。

以上

AUN/SEED-Net)

、ASEAN10 カ国の AUN/SEED-Net  
(14 大学) <sup>1</sup>によって構成される  
支援により運営されています。

主として教員の研究・教育能力を  
向上を目指しています。実際の活動で  
は、プログラムのほか、産業界との連携  
(ネットワークの構築・強化) 等の様々な

支援を受け、メンバー大学の若手教員・  
学生への修学機会を提供するもの

の期間に加えて事前に 6 ヶ月間の  
研修、最長で 3 年 6 ヶ月にわたる国  
外での在学期間は、奨学生が本邦で  
ない場合、また母国の大学で実験経験が不  
十分な場合は、国内支援大学での研究準備を行う

研修生は研修期間終了後、所属  
大学に戻り教員として勤務し、所  
属大学に勤務されています。国内支援大学の  
関係者へのご支援とご指導を賜りたく

ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
AUN/SEED-Net ホームページよりご確

とさせていただきます。

とさせていただきます。

と

本としております。

と得ていること

と

研究指導の内諾書、AUN/SEED-Net  
です。2017年度より、日本の支援  
奨学金を申請する時点で必要と

としております。従いまして、  
7年秋（9～10月）に入学するこ  
7年秋（10月）に本邦に到着、  
しています。どちらの形を取るか  
決めていただきます。

に文部科学省国費留学と同程度  
り加入)等が支援されます。ま  
す。ただし、奨学金の支給期間  
としての期間が含まれない場合  
ん。つきましては、受け入れに  
いたします。

とを前提に、AUN/SEED-Netの実  
野で年に1度ASEANの加盟大学  
研究者等が集まり、研究発表等  
加する学生は、AUN/SEED-Netか  
ます（本邦大学の在学中、上記  
会議の開催時に主催大学及び

本募者からの打診の時点では、奨  
意願います。

ter of Acceptance of Doctoral  
ラム研究指導内諾書)」の質問事  
ットでお送りください。この書  
学生選考時における資料とさせ  
合がありましたら、研究指導の



ご質問がありましたら、以下連

いただきたくお願い申し上げま

以上